

令和5年度きみの地域づくり学校座学編第1回実施報告

【日時】2023年5月13日（土）、14日（日）

【場所】美里の湯 かじか荘

【参加者】受講生45名（社会人23名、大学生17名、高校生5名）、
スタッフ6名、運営協議会会員4名、その他（町議会議員等）8名 計63名

【内容】

≪開校式≫

- ・紀美野町長 小川裕康 挨拶
- ・きみの地域づくり学校運営協議会会長
りら創造芸術高等学校 校長 山上範子 挨拶
- ・和歌山県知事代理 和歌山県海草振興局長 河野真也氏 御祝辞



≪第1講≫

「都市農村交流と関係人口」

講師：追手門学院大学 教授

和歌山大学 名誉教授

きみの地域づくり学校校長 藤田武弘



講義内容

都市と農村の関係性の変化について、農業政策と観光政策の観点から整理いただいた総論的なお話に加え、日本におけるグリーンツーリズムの取り組み事例についてお話いただきました。

受講生の感想（抜粋）

- ・農村振興や都市と農村の関係について、歴史的な経緯や年代ごとの政策の転換まで体系的に学ぶことができ、今後の地域づくりを学ぶ上で基本となる知見を得ることができました（地域おこし協力隊）
- ・交流すること、人とコミュニケーションを取ることを生きがいとする人々が多い中、より多くの人が来たらいいと思える場を作るにあたって地域の食材をいかそうという考えがとても参考になりました（高校生）
- ・時代背景として今は農村が真の意味で活性化する条件がそろっていることを確信しました
自信をもって直感したことを具体的にすすめていきたいと思いました（自営業）



≪第2講≫

「地域づくりとコミュニティビジネス」

講師：株式会社秋津野 社長 木村則夫氏



講義内容

田辺市上秋津地区における長年にわたる住民主体の地域づくりとコミュニティビジネスの取り組みについてご講義をいただき、両輪で地域活性を図ることの重要性についてお話いただきました。

受講生の感想（抜粋）

- ・コミュニティづくりや経営継続のリアルな苦労や大変さが伝わってきて学び多かったです（民間）
- ・当事者意識の高さ、また地域コミュニティを大切に思う気持ちが原動力になっていると感じた（地域おこし協力隊）
- ・“地域の当たり前”は外に出て“お宝”であると地域住民に認識されるのだなと感じました（大学院生）

≪第3講≫

「古民家宿の運営」

講師：風の古民家「うえみなみ」 代表 南出典子氏



講義内容

登録有形文化財を活用した古民家宿を開業するまでの経緯や、運営の実態、ノウハウ等についてご講義いただきました。

受講生の感想（抜粋）

- ・「やりたいこと」をきちんと見きわめ、自分らしい楽しい経営スタイルは長続きするポイントなのかなとヒントをいただきました（自営業）
- ・小さいところでは採算が合わず、儲けるためには工夫が必要である事と、続けていくためには自分がやりたいかどうかを重視する必要があることを学びました（行政）
- ・「古民家を残しただけなら人の目には触れないが宿として活用することで人に魅力が伝わる」というお話にすごく共感しました（大学生）

【事務局（担当：藤井）より】

受講生と関係者を併せますとかじか荘の大広間が満員になっており、会場が熱気に包まれた良いスタートを切ることができました。初年度とは思えないほど、当初の想定を大幅に超える受講生にご参加いただいておりますが、それぞれが学びに来られている理由を知ることができました。また、会場にお越しいただいた協議会会員の方々や町議会議員の方等が好印象を抱かれていたことが印象的でした。きみの地域づくり学校のこれからの楽しみになる1回目の開催となりました。